



行發日二月一十 (刊休日翌日祭曜日) 番五六五八〇一第報京東

厄年を危く経過して

濱崎善三郎

大正七年學校を出た年の十月、此處城炭礦に参り...

寂しいか犬よ

坪松生

我が戸を叩く音と、濱崎！

淋しいか、ベス！

俺が泣けば、

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

俺んこと、みてる

天気豫報

今晩は北西の風晴
明日は北西の風晴
一時曇

講談

勤太は何んぞと寂し相
にしんみりとして
「さうさ、あんな幾代さん
みてねな客様ばか、年中
あつたら、親爺屋は直に
倉が立たア」

講談

「此の不景氣に、何商賣だ
前の大工が懸しいや」
「此の不景氣に、何商賣だ
前の大工が懸しいや」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

講談

「お前は、いかに人間にな
つたア」

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 鈴木定藏
外科 鈴木定藏
小児科 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
藥劑科 鈴木定藏

鈴木醫院

院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 鈴木定藏
外科 鈴木定藏
小児科 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
藥劑科 鈴木定藏

水野化粧院

主 水野多子
電話 五二五番
電話 六七八番

片寄製作店

片寄 小淵太
電話 四八四番

和洋

建築 家具
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御努め致します

木村病院

院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩 俊雄

尼子自動車商會

平市二丁目
電話 六四〇番

平陽女學校

平市 電話 四五五番

邦文タイプライター科

邦文タイプライター科
邦文タイプライター科

科外生募集

科外生募集
科外生募集

耳鼻咽喉科専門

鈴木 正男
平市町 (電話 五八番)
藤田 女學堂前

鈴木醫院

院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 鈴木定藏
外科 鈴木定藏
小児科 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
藥劑科 鈴木定藏

江尻醫院

院長 醫學博士 江尻伊三郎
電話 六九一

和洋

建築 家具
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御努め致します

片寄製作店

片寄 小淵太
電話 四八四番

木村病院

院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩 俊雄

時代要求皆様の足!!

豆タクが入りました。
御立寄りから玄關へ迅速簡便
是非御利用を...

尼子自動車商會

平市二丁目
電話 六四〇番

平陽女學校

平市 電話 四五五番

科外生募集

科外生募集
科外生募集



川柳に就て

平華生氏に物申す
柴田長面子

時を以て、川柳や俳句
をものせられる君に、よく
磐新紙上にてお目にかるる
君、川柳には興味を持って
居る一人として、君の殊勝
な心根には敬意を表し、

日支事變

森 山 星 湖 人

○召集兵つぎつぎと町町の秋
○千結びに女生徒群れ町の秋
○乙女子や秋灯の下に千結び
○露降れて秋窓の旗はたきね
○召集兵たち虫が音の映の驛

川柳に就て

平華生氏に物申す
柴田長面子

時を以て、川柳や俳句
をものせられる君に、よく
磐新紙上にてお目にかるる
君、川柳には興味を持って
居る一人として、君の殊勝
な心根には敬意を表し、

日支事變

森 山 星 湖 人

○召集兵つぎつぎと町町の秋
○千結びに女生徒群れ町の秋
○乙女子や秋灯の下に千結び
○露降れて秋窓の旗はたきね
○召集兵たち虫が音の映の驛

